

床衝撃音レベルに関する適用等級

| 建築物 | 室用途 | 部位 | 衝撃源 | 適用等級 | | | |
|------|------|-------|-------|------|------|------|-------------|
| | | | | 特級 | 1級 | 2級 | 3級 |
| 集合住宅 | 居室 | 隣戸間界床 | 重量衝撃源 | L-45 | L-50 | L-55 | L-60, L-65* |
| | | | 軽量衝撃源 | L-40 | L-45 | L-55 | L-60 |
| ホテル | 客室 | 客室間界床 | 重量衝撃源 | L-45 | L-50 | L-55 | L-60 |
| | | | 軽量衝撃源 | L-40 | L-45 | L-50 | L-55 |
| 学校 | 普通教室 | 教室間界床 | 重量衝撃源 | L-50 | L-55 | L-60 | L-65 |
| | | | 軽量衝撃源 | | | | |

*木造、軽量鉄骨造またはこれに類する構造の集合住宅に適用する。

日本建築学会「建築物の遮音性能基準」（「建築物の遮音性能基準と設計指針」日本建築学会編 1999）

室間平均音圧レベル差に関する適用等級

| 建築物 | 室用途 | 部位 | 適用等級 | | | |
|------|------------------|------------------|------|------|------|------|
| | | | 特級 | 1級 | 2級 | 3級 |
| 集合住宅 | 居室 | 隣戸間界壁 | D-55 | D-50 | D-45 | D-40 |
| | | 隣戸間界床 | | | | |
| ホテル | 客室 | 隣戸間界壁 | D-55 | D-50 | D-45 | D-40 |
| | | 隣戸間界床 | | | | |
| 事務所 | 業務上プライバシーを要求される室 | 室間仕切壁 テナント間界壁 | D-50 | D-45 | D-40 | D-35 |
| 学校 | 普通教室 | 室間仕切壁 | D-45 | D-40 | D-35 | D-30 |
| 病院 | 病室（個室） | 室間仕切壁 | D-50 | D-45 | D-40 | D-35 |

日本建築学会「建築物の遮音性能基準」（「建築物の遮音性能基準と設計指針」日本建築学会編 1999）

適用等級の意味

| 適用等級 | 遮音性能の水準 | 性能水準の説明 |
|------|----------------|----------------------|
| 特級 | 遮音性能上とくにすぐれている | 特別に高い性能が要求された場合の性能水準 |
| 1級 | 遮音性能上すぐれている | 建築学会が推奨する好ましい性能水準 |
| 2級 | 遮音性能上標準的である | 一般的な性能水準 |
| 3級 | 遮音性能上やや劣る | やむを得ない場合に許容される性能水準 |

日本建築学会「建築物の遮音性能基準」（「建築物の遮音性能基準と設計指針」日本建築学会編 1999）

表示尺度と住宅における生活実感との対応の例

| | 遮音等級 | D-65 | D-60 | D-55 | D-50 | D-45 | D-40 | D-35 | D-30 | D-25 | D-20 | D-15 | 備考 |
|------|---------------------|--------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|--|---|--|-----------------------------------|------------------|---------------------------------|--|----------------------------------|-------------------|
| 空気音 | ピアノ、ステレオなどの大きい音 | ・通常では聞こえない | ・ほとんど聞こえない | ・かすかに聞こえる | ・小さく聞こえる | ・かなり聞こえる | ・曲がはっきりわかる | ・よく聞こえる | ・大変よく聞こえる | ・うるさい | ・かなりうるさい | ・大変うるさい | 音源から1mで90dBA前後を想定 |
| | テレビ、ラジオ、会話などの一般の発生音 | ・聞こえない | ・聞こえない | ・通常では聞こえない | ・ほとんど聞こえない | ・かすかに聞こえる | ・小さく聞こえる | ・かなり聞こえる | ・話の内容がわかる | ・はっきり内容がわかる | ・よく聞こえる | ・つつぬけ状態 | 音源から1mで75dBA前後を想定 |
| | 生活実感、プライバシーの確保 | ・ピアノやステレオを楽しめる * 機器類の防振は不可欠 | ・カラオケパーティーなどを行っても問題ない * 機器類の防振が必要 | ・隣戸の気配を感じない | ・日常生活で気兼ねなく生活できる ・隣戸をほとんど意識しない | ・隣戸住宅の有無がわかるがあまり気にならない | ・隣戸の生活がある程度わかる | ・隣戸の生活行為がかなりわかる | ・隣戸の生活行為がよくわかる | ・隣戸の生活行為が大変よくわかる | ・行動がすべてわかる | ・遮音されているという状態ではない ・小さな物音までわかる | ・生活行為、気配での例 |
| | 遮音等級 | L-30 | L-35 | L-40 | L-45 | L-50 | L-55 | L-60 | L-65 | L-70 | L-75 | L-80 | 備考 |
| 床衝撃音 | 人の走り回り、飛び跳ねなど | ・通常ではまず聞こえない | ・ほとんど聞こえない | ・かすかに聞こえるが、遠くから聞こえる感じ | ・聞こえるが、意識することはあまりない | ・小さく聞こえる | ・聞こえる | ・よく聞こえる | ・発生音がかなり気になる | ・うるさい | ・かなりうるさい | ・うるさくて我慢できない | 低音域の音、重量・柔衝撃源 |
| | 椅子の移動音、物の落下音など | ・聞こえない | ・通常ではまず聞こえない | ・ほとんど聞こえない | ・小さく聞こえる | ・聞こえる | ・発生音が気になる | ・発生音がかなり気になる | ・うるさい | ・かなりうるさい | ・大変うるさい | ・うるさくて我慢できない | 高音域の音、軽量・硬衝撃源 |
| | 生活実感、プライバシーの確保 | ・上階の気配を全く感じない | ・上階の気配を感じることもある | ・上階で物音がかすかにする程度 ・気配は感じるが気にはならない | ・上階の生活が多少意識される状態 ・スプーンを落とすとかすかに聞こえる ・大きな動きはわかる | ・上階の生活状況が意識される ・椅子を引きずる音は聞こえる ・歩行などがわかる | ・上階の生活行為がある程度わかる ・椅子を引きずる音はうるさく感じる ・スリッパ歩行音が聞こえる | ・上階住戸の生活行為がわかる ・スリッパ歩行音がよく聞こえる | ・上階住戸の生活行為がよくわかる | ・たいていの落下音ははっきり聞こえる ・素足でも聞こえる | ・生活行為が大変よくわかる ・人の位置がわかる ・すべての落下音が気になる ・大変うるさい | ・同左 | 生活行為、気配での例 |

(注) 本表は室内の暗騒音を30dBA程度と想定してまとめたものである。暗騒音が20～25dBAの場合には、1ランク左に寄ると考えたほうがよい。

特に、遮音等級がD-65～D-50、L-30～L-45の高性能の範囲では、暗騒音の影響が大きく、2ランク程度左に寄る場合もある。

出典：(日本建築学会「建築物の遮音性能基準」(「建築物の遮音性能基準と設計指針」日本建築学会編 1999))

室内騒音に関する適用等級

| 建築物 | 室用途 | 騒音レベル(dB(A)) | | | 騒音等級 | | |
|-----------------|---------|--------------|----|----|------|------|------|
| | | 1級 | 2級 | 3級 | 1級 | 2級 | 3級 |
| 集合住宅 | 居室 | 35 | 40 | 45 | N-35 | N-40 | N-45 |
| ホテル | 客室 | 35 | 40 | 45 | N-35 | N-40 | N-45 |
| 事務所 | オープン事務室 | 40 | 45 | 50 | N-40 | N-45 | N-50 |
| | 会議・応接室 | 35 | 40 | 45 | N-35 | N-40 | N-45 |
| 学校 | 普通教室 | 35 | 40 | 45 | N-35 | N-40 | N-45 |
| 病院 | 病室(個室) | 35 | 40 | 45 | N-35 | N-40 | N-45 |
| コンサートホール・オペラハウス | | 25 | 30 | - | N-25 | N-30 | - |
| 劇場・多目的ホール | | 30 | 35 | - | N-30 | N-35 | - |
| 録音スタジオ | | 20 | 25 | - | N-20 | N-25 | - |

日本建築学会「建築物の遮音性能基準」(「建築物の遮音性能基準と設計指針」日本建築学会編 1999)

適用等級の意味

| 適用等級 | 遮音性能の水準 | 性能水準の説明 |
|------|----------------|----------------------|
| 特級 | 遮音性能上とくにすぐれている | 特別に高い性能が要求された場合の性能水準 |
| 1級 | 遮音性能上すぐれている | 建築学会が推奨する好ましい性能水準 |
| 2級 | 遮音性能上標準的である | 一般的な性能水準 |
| 3級 | 遮音性能上やや劣る | やむを得ない場合に許容される性能水準 |

日本建築学会「建築物の遮音性能基準」(「建築物の遮音性能基準と設計指針」日本建築学会編 1997)

表示尺度と住宅における生活実感との対応の例

| 騒音レベル | 25dBA | 30dBA | 35dBA | 40dBA | 45dBA | 50dBA | 55dBA | 60dBA | 65dBA | 70dBA | 75dBA | | |
|-------|---------------|-------------|-------------|-------------|--------------------|----------------------------|-----------------------|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------|--------------|--------------|
| 騒音等級 | N-25 | N-30 | N-35 | N-40 | N-45 | N-50 | N-55 | N-60 | N-65 | N-70 | N-75 | 備考 | |
| 外部騒音 | 道路騒音などの不規則変動音 | ・通常では聞こえない | ・ほとんど聞こえない | ・非常に小さく聞こえる | ・小さく聞こえる | ・聞こえるがほとんど気にならない | ・多少大きく聞こえる | ・大きく聞こえ少しうるさい | ・かなり大きく聞こえややうるさい | 非常に大きく聞こえる | ・かなりうるさい | ・非常にうるさい | 道路騒音など |
| | 工場騒音などの定常的な音 | ・ほとんど聞こえない | ・非常に小さく聞こえる | ・小さく聞こえる | ・聞こえる | ・多少大きく開ける | ・大きく聞こえ少しうるさい | ・かなり大きく聞こえややうるさい | ・非常に大きく聞こえる | ・かなりうるさい | ・非常にうるさい | ・うるさくて我慢できない | 工場騒音など |
| 内部騒音 | 自室内の機器騒音 | ・ほとんど聞こえない | ・非常に小さく聞こえる | ・小さく聞こえる | ・聞こえる ・会話には支障なし | ・多少大きく聞こえる ・通常の会話は十分に可能 | ・大きく聞こえる ・通常の会話が可能 | ・かなり大きく聞こえる ・多少注意すれば通常の会話が可能 | ・非常に大きく聞こえる ・声を大きくすれば会話ができる | ・かなりうるさい ・かなり大きな声を出さないと会話ができない | ・非常にうるさい | ・うるさくて我慢できない | 空調騒音, 給排水音など |
| | 共用設備からの騒音 | ・非常に小さく聞こえる | ・小さく聞こえる | ・聞こえる | ・多少大きく聞こえる | ・大きく聞こえる | ・かなり大きく聞こえる | ・非常に大きく聞こえる | ・非常に大きく聞こえる | ・非常にうるさい | ・非常にうるさくて我慢できない | ・うるさくて我慢できない | エレベータ、ポンプなど |

出典：（日本建築学会「建築物の遮音性能基準」（「建築物の遮音性能基準と設計指針」日本建築学会編 1999）